



TITLE:

表紙(泌尿器科紀要 第33巻第8号) 購
読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙(泌尿器科紀要 第33巻第8号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1987, 33(8): 1320-1320

ISSUE DATE:

1987-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/119212>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 33, No. 8

ACTA UROLOGICA JAPONICA

August 1987

泌尿器科紀要

第33巻 第8号 1987年8月

経皮的腎瘻のための筋層経路拡張鉗子(英文)	藤田 公生	1145
経皮的腎切石術の経験	滝 洋二・ほか	1147
体外衝撃波による腎・尿管結石破碎術の臨床成績	郡 健二郎・ほか	1150
体外衝撃波による尿管結石破碎術 —治療に難渋した症例についての検討—	岡 聖次・ほか	1157
単純性腎嚢胞に対する塩酸ミノサイクリンの経皮的注入療法	岡所 明・ほか	1162
進行膀胱癌に対するアンギオテンシンⅡ併用, シスプラチン (CDDP)・アクラシノマイシン(ACR)動注療法	朝日 俊彦・ほか	1167
膀胱腫瘍症例の経過観察中に尿管腫瘍を併発した 4例の病理組織学的検討	三品 輝男	1172
表在性膀胱腫瘍に対する Aclacinomycin-A と Cytocine Arabinoside の併用による膀胱注入療法の経験	津ヶ谷正行・ほか	1180
Step section による前立腺癌, stage A 例の臨床病理学的研究	湯下 芳明・ほか	1185
前立腺癌の組織分類について Gleason 分類の検討	内島 豊・ほか	1193
最近2年間に経験した辜丸腫瘍12例の臨床的観察	竹前 克朗・ほか	1199
同胞内に発生した辜丸腫瘍	野島 道生・ほか	1207
腎被膜に発生した Malignant Lymphoma の1例	新田 政博・ほか	1213
腎平滑筋肉腫の1例	小林 峰生・ほか	1218
食道癌を原発とする転移性腎腫瘍の1例	北見 一夫・ほか	1221
長期経過観察した進行成人 Wilms 腫瘍の1例	西村 昌則・ほか	1226
UFT によって Complete Remission (CR) が得られた 腎癌多発性肺転移の1例	菅原 敏道・ほか	1232
腎異物結石の1例	石田 章・ほか	1236
舌転移をきたした腎細胞癌の1例	稲井 徹・ほか	1240
後腹膜脂肪肉腫の1例	野島 道生・ほか	1244
慢性腎不全患者に認められた両側尿管腫瘍の1例	中嶋 孝夫・ほか	1248
尿管膀胱移行部狭窄を合併した腎盂尿管移行部狭窄の1例	住吉 義光・ほか	1253
腎軟結石を伴った先天性偏側性多嚢腎の1例	山本 雅憲・ほか	1256
膀胱癌手術拒否症の1剖検例	朴 勺・ほか	1261
常状疱疹による神経因性膀胱の1例	谷川 克己・ほか	1266
左下腿に被角血管腫を伴った膀胱海绵状血管腫の1例	竹山 政美・ほか	1272
Stage D2 前立腺癌に膀胱前立腺全摘除術を施行し, 長期寛解が得られている1例の考察	高井 計弘・ほか	1276
肺癌を原発とする転移性陰茎腫瘍の1例	武縄 淳・ほか	1281
Fournier's Gangrene の1例	高羽 秀典・ほか	1285
特発性陰囊石灰沈着症の1例	熊谷 乾二・ほか	1289
Schoenlein-Henoch 紫斑病における急性副辜丸炎: 緊急手術をした1例	白田 和正・川崎 千尋	1292
精索脂肪肉腫の1例	星野 孝夫・ほか	1296
乳児にみられた腔ポリープの1例	高橋 剛	1300
尿路感染症に対する Ofloxacin (OFLX) の臨床的検討	宮田 昌伸・ほか	1303
経尿道的前立腺切除術後の出血に対する対策 —トロンビン前立腺内注入療法の試み—	長谷川親太郎・ほか	1312
Cefbuperazone (CBPZ) の前立腺組織内移行に関する検討	泉 博一・ほか	1316

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員(年間購読者)に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP
 - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリ
- ミシングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)} によると)
- 雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)
- 編集部員：石神 襄次 前川 正信
園田 孝夫 友吉 唯夫